

平成21年4月30日

各 位

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社  
 代表者 取締役社長 森 憲司  
 (コード番号 7705)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 高橋 良彰  
 (TEL 03-5323-6633)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,898	408	260	△139	△25.40
今回発表予想(B)	16,323	321	257	△152	△27.99
増減額(B-A)	△574	△86	△2	△12	
増減率(%)	△3.4	△21.2	△1.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	18,537	962	698	572	102.61

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,095	542	532	316	57.42
今回発表予想(B)	12,626	553	642	416	76.48
増減額(B-A)	△468	10	109	99	
増減率(%)	△3.6	1.9	20.6	31.6	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,502	888	746	615	110.31

## 修正の理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

## (1)平成21年3月期通期個別業績予想の修正について

自動認識事業では、急激な景気後退が大きく影響し、通期業績は売上高、営業利益とも平成21年2月9日の予想をさらに下回る見込みとなりました。一方、分析機器事業では、同じく景気後退の影響もあり売上高が減少しておりますが、売上総利益率の確保に加え販管費の抑制に努めた結果営業利益の減少は最小限に止めることができました。

また、為替相場の円高ストップもあり為替予約評価益が見込まれることから、個別業績の予想を上記のとおり修正いたしました。

## (2)平成21年3月期通期連結業績予想の修正について

半導体事業では、当社子会社テクノオウツ株式会社(コード番号:5217)が本日平成21年4月30日発表のとおり、半導体業界の予想以上の低迷に加え為替差損の拡大等もあって売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも減少しているため、業績予想の修正を行っております。

個別業績予想にこれらを総合し連結の業績予想を修正いたしました。

なお、通期の配当金につきましては、当初予想通りの配当金1株当たり年間45円を予定しております。

(注)上記予想は、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上